

# ロジックモデル(貨幣の製造に必要な経費)

## 事業の目的

国民生活に不可欠な貨幣について、世界最高水準の偽造防止技術を活用し、高い品質が均一に保たれるよう徹底した品質・製造管理の下で、貨幣を確実に製造し、円滑に供給すること。

## 現状把握、課題

キャッシュレス化の進展等により、貨幣の流通高の減少が見込まれる。一方で、偽造抵抗力強化の観点から令和3年度に発行を開始した新しい500円貨幣の円滑な流通を図る必要がある。これらを踏まえ、貨幣の発行、引換及び回収の円滑な実施を図るため、貨幣の製造、鋳つぶし、地金の保管等を適切に行うことができる体制を維持する。

### インプット (資源)

### アクティビティ (活動内容)

### アウトプット (活動目標)

### アウトカム (成果目標)

### インパクト (政策効果)

○予算の確保  
令和3年度補正  
後 予算：  
17,983百万円

※ 令和4年度予  
算：17,138百万  
円

○貨幣の流通状況等  
を適切に把握した上で  
貨幣製造計画を策定  
し、造幣局に製造を指  
示

➢ 財務大臣は、独立行政  
法人造幣局法第12条  
に基づき、「貨幣製造計  
画」を策定し、造幣局に  
製造を指示している。

○貨幣の流通状況等  
を適切に把握した上で  
造幣局に対し貨幣の  
回収を指示し、回収貨  
幣を適切に活用

○財務大臣の定める貨幣製造  
計画の確実な達成

貨幣の製造枚数※  
・令和元年度 1,020,318千枚  
・令和2年度 1,006,625千枚  
・令和3年度 822,260千枚  
・令和4年度 814,070千枚  
(見込)

※ 記念貨幣を含む

○造幣局に対する適切な地金  
(回収貨幣)の交付

造幣局に対する地金交付量  
・令和元年度 4,145.5 t  
・令和2年度 3,381.3 t  
・令和3年度 1,993.6 t  
・令和4年度 3,222.4 t (見込)

○偽造困難・純正画一な貨幣  
の製造による、国民が安心して  
貨幣を使用できる状況の維持  
○確実・安定的製造による必  
要十分な貨幣の円滑な供給

【達成状況】  
令和元～3年度において、市  
中の貨幣流通需要に応えられ  
ない状況や大量の偽造貨幣の  
流通等、経済取引が阻害され  
る状況は生じていない。

○貨幣製造計画の達  
成割合

・令和元年度 100%  
・令和2年度 100%  
・令和3年度 100%

※ 改定後製造計画により  
算出

○回収した旧貨をリサイクル原料として貨幣(500円貨)  
を製造した割合

・令和元年度 88.6% (100.1%)  
・令和2年度 42.2% (46.6%) ※1  
・令和3年度 8.6% (14.0%) ※2

※ 括弧書きは目標達成度

※1貨幣回収量の減により、再利用可能な回収貨幣が不足、投入割合が  
低下。

※2新型コロナウイルス感染症による、市中の金銭機器の改修作業等への  
影響を踏まえた新貨の改鋳時期の延期、製造貨種変更を実施。

○通貨に対する  
信頼の維持